

vol.  
041

## 障害社通信

2025年  
01月号

新しい年を迎えました。1月は睦月（むつき）とも言い、親族一同集って宴をする「睦び月（むつびつき）」から来ている名前だそうです。確かに、皆で集って新年の挨拶を交わすことが多いですね。今年1年も皆さんにとっていい出会い（ご縁）があるといいですね。本年も障害社をどうぞよろしくお願いたします。

## 株式会社障害社の2025年は・・・

総務部の池之上です。遅ばせながら本年もよろしくお願い申し上げます。

さて2025年、当社においては今年は創業してちょうど20年目の節目であり、転機の年となりそうです。まず、この通信が発行されてすぐ（2月1日）、パーソナルアシスタント相模原とパーソナルアシスタント横浜が統合し、パーソナルアシスタント相模原に集約します。10年間運営してきた「パーソナルアシスタント横浜」という名前が無くなるのは寂しいですが、新体制で更なる発展を目指します！

そして、本社兼パーソナルアシスタント町田の事務所が手狭になってきたこともあり、秋を目途に事務所を移転する計画があります。こちらも今の事務所に入居して約15年、名残惜しいですが、働きやすい職場づくりを進めていきます（ただし総務部は大変な秋を迎えそうです・・・🍁）

また知的・精神障害の分野においてもグループホームを開所する計画を立てております。開所場所の問題など、まだまだ課題は多いですが当社が身体障害だけでなく、障害福祉に幅広く携わっていく方向性を明確にしていく良い機会だと考えます。

管理面では、人事評価制度を導入を開始することになります。まずは管理職を中心に導入となりますが、従業員に対して公平な評価を行うということを目指して進めていきます。

今年の会社のスローガンは「共に学び、共に成長」です。従業員の皆さまが前向きに「学ぶ」ことが、会社の成長に繋がると考えておりますので、従業員の皆様、改めまして今年も宜しくお願いたします。



## 障害者雇用について

障害者雇用は、特に中小企業では法定雇用率の達成が難しい現状がありますが、対応次第では明るい未来が見える分野でもあります。現在、日本の障害者雇用は雇用形態や給与体系が改善されつつあり、身体障害者を無期契約の正社員として雇用する例も増加しています。

このような成功事例は、障害者の能力を活かしつつ社会全体に利益をもたらす可能性を示しています。

当社の就労支援B型事業所であるrootsでは、綿花から種を取り、綿糸の材料をつくる作業を小規模ながら始めました。この作業は、手作業が中心で、一つ一つの工程が丁寧さを要求されるため、障害者の特性に合わせた働き方を実現できる可能性があります。また、自然素材を活用することで、環境に優しい事業としても社会に貢献できると考えています。

障害者雇用を進める際には、単に法定雇用率を達成するだけでなく、仕事の内容や環境を工夫することが重要であり、個々の特性や能力に合わせた業務を提供することで、働く喜びを感じてもらいながら、生産性を高めていくことが可能になると考えます。また未来を見据えると、労働力不足が深刻化する社会において、障害者雇用が新たな可能性を切り拓くチャンスとなる可能性があります。我々雇用側が柔軟な発想を持ち、障害者と共に成長する姿勢を持つことで、より多様性のある働き方を実現できる可能性が拡がると思いますので、当社も引き続き障害者雇用に積極的に取り組んでまいります！



## 『火傷』や『低温火傷』にご注意ください。

皆さんは『低温火傷（ていおんやけど）』をご存じですか？

低温火傷とは、熱湯や火などに触れて起こる「高温火傷」よりも低い温度で起こる火傷のことです。

具体的には40～50℃程度の比較的低い温度の熱源に長時間皮膚が触れることで起こります。医学用語では「低温熱傷（ていおんねっしょう）」と呼ばれます。就寝時など、数時間かけて発症するケースがよく見られますが、50℃に近いものだと、数分触れているだけで起こることもあります。低温火傷の原因となるものには、湯たんぽ、電気アンカ、ホットカーペット、カイロなどがあります。寒い季節になると上記の温熱器具などをよく使用するようになりますが、使い方には注意が必要です。また、皮膚が薄い高齢者や乳児、知覚・運動能力に麻痺がある人、飲酒をしている人も注意が必要です。

特に知覚・運動能力に麻痺がある人は、温度や痛みが分かりにくいので十分な注意が必要となります。上記の温熱器具にはない物での幾つかの例を挙げますと、「熱い料理や飲料の入った食器に触れていて火傷してしまう」「ヒーターなどの熱源の近くにいることで車椅子の部品が熱くなり触れているところが火傷してしまう」「缶コーヒーなどのホットドリンクを持つことで火傷してしまう」などがあります。

低温火傷の場合は、高温火傷の場合より皮膚の深いところを痛める為、重症化することが多いです。

寒い冬を乗り越えるには、身体を温める温熱機器などが欠かせませんが、障がいの有無に関わらず、使い方には充分注意するようにしましょう。詳細は右のQRコードからご確認ください。



日本医師会  
ホームページ



## 訪問リハビリ（OT）

私は週一回、訪問リハビリを利用しています。

訪問リハビリの最大の利点は、専門のリハビリ療法士が、患者の個別の状態及び個々の自宅に合わせ、目標に応じたプランを考えてくれるため、効果的なリハビリができます。

また、加齢や経年劣化に応じて補助用具を見直し、新たな補助用具の購入を考えることもできます。導入後の介助方法や変更点・注意点についても、継続してリハビリしていく事で取得していくことに結びつき、自宅での日常生活をより円滑に行えるようになります。訪問リハビリ訓練は、家族やヘルパーさんにも見学してもらうことができ、実際の介助方法の向上にもつながります。リハビリ療法士が家族に対して適切な介助方法を教えることで適切かつ良好な介助を行うことに繋がります。



また、ADL（日常生活動作）やQOL（生活の質）の向上に大いに役立ち、当事者や介助者等の負担が軽減されるだけでなく、互いを高める事にもなるのではないのでしょうか。

## 重度肢体不自由者のリアルな生活

パーソナルアシスタント町田ピアサポート系の廣田です。

毎日の疲れを癒す瞬間が皆さんにもありますよね。僕は毎日の洗髪がリラックスタイムです。私の場合は、



普段毎日入浴してシャワーを浴びることが難しいので、車椅子のまま服も脱がずに濡れないで洗髪をできないかと考えた結果、Aから始まる某ネット通販サイトを見てみると最高の商品がありました！写真に載っているのがその便利道具です。これがあれば旅行先などでも洗髪がし易くなると思います！私は毎日この道具を使ってヘルパーさんに頭を洗ってもらっているおかげで疲れを貯めずに生活できていると感じています。

私たち当事者の生活を豊かにしてくれるのは道具と人の支えです。皆さんも是非両方の支援を受けて豊かな自立生活を送ってみてください。

当事者スタッフのリアルな生活をSNSで紹介しております。QRコードからご覧ください！



facebook



Instagram

障害社通信について、みなさまのご意見をお聞かせください！！



株式会社障害社

〒193-0013

東京都町田市原町田4-18-6 マーブルパレス101

TEL：042-850-9141/FAX：042-850-9142

MAIL：info@shogaisha.co.jp

障害社HPは  
こちらの  
QRコードから

